



世田谷稲門会会報

平成23(2011)年12月20日

第48号

稲門会 一夫夫利行子次男
健保邦尚秀信利昭
世田谷 上村島坂内子原林
岩川寺宮大兼江若

事務局 〒156-0043
東京都世田谷区松原5-19-4
横田吉明方
TEL/FAX03-3324-7046

俳優の小沢昭一氏が講演

新春懇親会

1月21日(土)4時より、目黒雅叙園で

新春懇親会は1月21日(土)午後4時から「目黒雅叙園」で開催します。

在日本新劇俳優協会会長・明治村村長を務めておられる。



第1部は母校出身の俳優で新劇と映画・テレビ・ラジオ・著作活動と幅広く活躍され、朝日賞・菊池寛賞など数々の賞を受賞されている小沢昭一さんにご講演いただくことになりました。

平成6年度春の褒章で紫綬褒章受賞

第2部は講演の後、懇親会でお楽しみみの福引抽選会も予定しています。また会場では今年も写真部会の皆さんの傑作も展示の予定です。

平成13年度春の叙勲で勲四等旭日小綬章受賞

会費は9000円。

著書「ものがたり・芸術と社会」「放浪芸雑録」「小沢昭一 百景」「新宿末廣亭十夜」「老いらくの花」「小沢昭一 座談」「道楽三昧」「小沢昭一のこの道思えばいとしや」出たとこ勝負!」など。

小沢昭一氏プロフィール
昭和4年 東京生まれ
昭和27年 早稲田大学文学部卒。

CD「夢は今もめぐりて」小沢昭一がうたう童謡「レコード大賞企画賞」など。

俳優座養成所を経て、昭和26年俳優座公演で初舞台。以後、各分野で幅広く活躍、数々の演技賞・芸術選奨、著作では新潮学芸賞などを受賞されており、現在

放送開始40年目。また、ラジオの「小沢昭一の小沢昭一のことろ」は

＝母校の今＝ 第21回

低炭素社会の実現に向けて

早稲田大学「グリーン・コンピューティング・システム研究開発センター」が竣工、開所

本年4月13日、早稲田大学・喜久井町キャンパスに早稲田大学40号館「グリーン・コンピューティング・システム研究開発センター」が竣工し、5月13日には正式に開所式が行われた。同センターは経済産業省の「産業技術研究開発施設整備事業」による補助を得た産官学連携研究施設で、竣工式と開所式に相前後して、同拠点を中心に研究を推進する組織「グリーン・コンピューティング・システム研究機構（機構長 松島裕一氏）」も発足した。

同センター内には、世界最大級の最先端SMP（Symmetric Multi-Processor）サーバーが設置され、建物の1階と2階には、国際会議に対応可能な160席（1F）、100席（2F）の二つのプレゼンテーションルーム、さらに屋上には低炭素社会の実現に向けての低消費電力サーバー実証実験用に使用される太陽光発電パネル等も設置されている。

今後、同センターを拠点として、冷却ファン不要で低消費電力、高性能、コンパクト、さらに、静かで太陽電池でも駆動できる国際競争力の高い次世代マルチコア・メニーコアのハードウェア、ソフトウェア、情報家電機器やロボットなどへの応用技術の研究開発など、産学連携で進めるとともに、次世代高付加価値技術を創出する人材の育成を目指すという。



また、学内の組織や他のキャンパスにまたがる研究プロジェクトや産官学連携による共同研究、さらに、国内外の第一線級研究者の招聘、学術交流等も積極的に行い、最先端の研究拠点として活動を展開していくという。なお、同センターの建物は2011年度の公共用途の建築物・空間の部で、グッドデザイン賞を受賞した。

早稲田は、さらに力強く歩み続けている。

(大内 秀行/記)

納涼会開催 「ワールドミュージックコンサート」

今年の納涼会は9月3日(土曜日)午後6時から9時まで三軒茶屋のキャロットタワー26階のレストラン「スカイキャロット」に於いて「ワールドミュージックコンサート」という企画で開催されました。

当日は台風12号の余波で強風でしたが、幸い雨は降らず、天候に恵まれた中、81名のご出席をいただきました。

岩上会長の挨拶、柏副会長の乾杯発声の後、テーブル、椅子席で飲み物と食事を楽しんでいただいた後、プロの方々のボランティア出演によるシャンソン、バイオリン演奏、ピアノとマンドリンの伴奏でのカンツォーネを聴きながら夜のひとときを過ごしました。

最後に岩上会長のリードで「都の西北」の斉唱とエールの唱和を行い、散会しました。

(キャロット会 富塚 兆弥/記)



2011年 稲門祭盛大に挙行

10月16日(日)の稲門祭は夜来の雨もあがり、校友講演会・音楽会など盛り沢山の諸行事が行われた。

また、福引き抽選会では今年も乗用車が当たるなど豪華賞品が準備された。

恒例の大隈庭園に出店した世田谷稲門会の焼き鳥・ビー



ルは販売スタッフの協力により、青空の下真夏を思わせる暑さも加わって、所定の時間内に完売し、「めでたし、めでたし」で閉店した。

なお、福引券及び模擬店の売上金の一部は校友会本部を通し、先の東日本大震災で被災された地域の学生に義援金として送られることになっている。

(川村 保夫/記)

部会だより

芸術・芸能鑑賞

9月19日に年1回の総会を新宿の謝朋殿で会員16名参加で開催した。第3期(2010年7月~2011年6月)の活動報告と会計報告及び今期以降の会員の皆さんの希望を伺った。新入会員2名(西喜さんと加藤さん)を紹介。

第3期は17回のイベントに総計195名の参加者を数えたが、人気はやはり「三越落語会」と「文楽」が高く次いで「懐かしの映画音楽」が安定した人気を得ている。今年は歌舞伎座の建替えも有り、歌舞伎の案内はしなかった。新規に「絵画・彫刻」などの鑑賞会希望があり、今後の計画に組み入れることにする。今年の年末にかけては9月30日の「映画音楽」に14名、11月25日の「三越落語会」に15名、12月の明治座公演「前川清と秋元順子」を有志の参加で企画実施した。なお、新年1月に歌舞伎鑑賞を計画中。



世話人：柏 良子 麻生 卓司 鈴木 宏治

申込み先：鈴木 (TEL/FAX 03-3307-2201)

(鈴木 宏治/記)

食べ歩き

9月25日(日)、東京湾岸に建つリゾート倶楽部「東京ベイコート倶楽部」24階のレストラン『マル・ダムール』で第49回例会を開催した。出席者は39名の盛況、今回は「Tour D' argent」のパリ本店と東京店の総料理長を歴任したファブリス氏が腕をふるった本格的なフランス料理である。

当レストランのご厚意で都の西北のメロディが流れる中、奥田隆氏の発声によりシャンパンで乾杯、宴は始まった。前菜、次々に出される料理、特に好評だったのが濃厚なキノコのスープと牛頬肉のプレゼである。いずれも手間をかけた料理で眼前に広がる東京湾を眺めながら、楽しい歓談が続いた。

そして、今回の会場を紹介頂いた岸田正和氏の中締め挨拶で閉会となった。

(柏 良子/記)



俳句

10月のさくら句会は日下野由季先生の指導のもと、10名の会員により兼題の『鳥渡る』と季節に相応しい俳句を持ち寄って開催しました。当日の優秀句を紹介します。

木犀の香りに溺れみたりけり	由季先生
ほとぼしる瑠璃の炎や秋刀魚焼く	松尾 まもる
復興のチャリティーバザー小鳥来る	黒岩 千鶴子
篝火に迷はず落ちよ鮎の川	田中 勝
釣り人の弧を描く先鳥渡る	江原 利水

さくら句会は毎月1回前もって由季先生から出される兼題及び自由句を持ち寄って楽しんでいます。11月の兼題は『時雨』です。俳句に興味ある方、特にこれから始めてみたい人はぜひ気軽に参加してみてください。(江原 利次/記)

麻雀

- 6月18日(土)24名が祖師ヶ谷大蔵の麻雀荘「天狗」(以下2と4の開催場所は同一)に集まった。中盤迄は飯田・草野両氏がリードしていたが、田島氏が半チャン65点を叩き出し、優勝の感激に耽った。
優勝 田島功統、準優勝 飯田保則、3位 小河原泰
- 7月10日(日)大田区より3名を迎え、計28名が集まった。乱戦模様となったが最終回、宮木氏が日野氏の猛追をかわし僅差で初優勝を遂げた。優勝 宮木甫、準優勝 日野義久、3位 吉村義智
- 8月27日(土)当部主催で三区親睦麻雀大会を渋谷の麻雀荘「スリーハンドレッド」で32名が参加し開催した。当部から最多の16名が参加し、優勝は逃したものの準優勝をはじめ満遍なく活躍した。
準優勝 橋本大道、3位 木村滋
- 9月11日(日)大田区から4名を迎え、計28名が優勝杯を争った。阿部氏が序盤から飛び出し楽勝かと思われたが、河村、武田氏の猛追を許したものの踏ん張り、僅差で久しぶりの優勝杯を獲得した。
優勝 阿部信之、準優勝 河村卓郎、3位 武田一成 (下谷内 堯/記)

ウォーキング



9月は調布駅からゲゲゲの商店街を通り、布田天神、虎狗神社に立ち寄り、深大寺ではボランティアの人から寺院内の歴史を説明してもらい勉強になりました。10月は爽やかな秋晴れの下2回開催され、中野駅から哲学道公園、歴史民族博物館めぐりと、青山から乃木神社、氷川神社、日枝神社、清水谷公園を経て赤坂見附までの都心散策と、どちらも思わぬ発見に出合う有意義なウォーキングとなりました。

なお、ホームページで来年3月までの月別の詳しいスケジュールを紹介していますのでご覧下さい。又、希望される方にはファックスでも送信します。

(江原 利次/記)

ボウリング

世田谷オークラブオウルにおいて、原則毎月1回の例会を渋谷稲門会と合同して開催。最近の活動状況は次の通り。

6月12日(日)、参加者12名。211点高橋民夫、163点西喜永治、152点斉田裕二。大田稲門会ボウリング部会長の高橋さんが特別参加。ストライクの連発でアッと驚く高得点にビックリ!! 西喜さんも見事な投球で大健闘。

8月7日(日)、参加者9名。140点松野文彦、138点天野善弘。

9月25日(日)、参加者5名。126点西喜永治、112点武藤哲。

10月30日(日)、参加者8名。172点松野文彦、128点加藤隆夫。松野さん、スピード豊か殆どミスのない投球で高得点!!

ボウリングは、どなたでも手軽にできるスポーツ。健康増進・体力強化のため思いきって始めてみませんか!! ご参加お待ちしております。
(武藤 哲/記)

カラオケ

I. 「月例会」は毎月第一土曜日13:00~17:00於コートダジュール下北沢。

実施状況は52回(7/2)12名、53回(8/6)14名、54回(9/3)11名、55回(10/1)10名、56回総会(11/5)15名が出席。3~4室に分かれ、得意なジャンルを熱唱しました。

II. 「総会」は

①運営方針のクリーン(毎回の収支報告)オープン(要望アンケート)オーソドックス(稲門会の品位)を基本とし、月例会を第一土曜日に、カラオケ教室(11月)、新年会(1月)、旅行(6月)を実施していくことにしました。



②役員体制は相談役：清水明雄、監査役：豊田恵之助、代表世話人：倉田豊、世話人：西野哲夫(新任)、薄井好雄、塚脇一帆が選任されました。

③豊田監査役より収支報告書(22.10.1~23.9.30)の説明があり承認されました。

④会員名簿(35名)23.10.1を更新しました。

また、西村准也さんが元気な姿で挨拶に見え、「紺碧の空」を皆で斉唱し散会しました。
(倉田 豊/記)

釣

6月26日 川崎つり幸よりキス釣り 7名。釣り場 対面の千葉富津沖。

一竿目より入れ食い30~62匹半日釣り。

7月30日 つり幸よりカサゴ、メバル釣り夜船釣り不可。

7月2、16、23日 地藏堂川にて岩魚、虹鱒計11匹。柴田

8月6日 千葉小糸川、木更津港にてハゼ岡釣り。9名

8月7、16日 大田区京浜運河夕やけなぎさにてハゼ岡釣り。
朝6時~11時で20~50匹釣れた。子供連れに最適地。

8月28日 横浜黒川本家よりアジ半日釣り。6名不漁。

9月25日 平塚沖庄治郎丸よりイナダ釣り。6名。

イナダは1匹成田さんのみ。ソーダ鯉の入れ食い。他カマス、鰻。

10月30日 劔崎沖へ利一丸仕立船9名。イナダ8匹、マトー鯛4匹、真鯛5匹。

後半大鰻釣り10~22匹/人 好漁。

今後の予定

12月、1月はカワハギ。

1月16日 銀座魚や一丁にて新年会。



(柴田 昇/記)

パソコン

1 毎月第2・第4火曜日の午後2時から4時まで、松濤町のマンションを会場として活動した。

2 毎回会員の約半数に当たる10人前後が出席し、企画担当世話人を中心に活動した。

3 活動の内容としては、今回は日常よく使われるワードの、様々な機能の勉強が中心となった。

1) ワードを使って地図を作製する

2) ワードで画像をトリミングし、他の場所に挿入する

3) ワードアートで画像を切り抜く

4) ワードで線路を描く

5) ワードにエクセルの表を取り込み、エクセルと連動させる

4 今回の活動中も、各自のパソコンのWindowsのレベル(Vista/Xp等)の違いにより、操作方法が微妙に異なり、うまく作動しないケースがあることが判明した。
(高橋 毅/記)

囲碁将棋

囲碁

10月に入って漸く秋も深まり、10月22日(土曜日)、世田谷区内上用賀の社会福祉法人老人休養ホーム「ふじみ荘」にて第38会囲碁の会を1泊の合宿で開催した。10時半に集合し、まずは朝風呂へ。

参加者はご常連で総勢10名。最強の池松7段を筆頭に武藤7段、大庭克治6段、斉藤5段を初めとした総当たり戦。本日は幹事総会にて、代表世話人矢田廣、世話人経理担当萩原健氏の2名に新たに世話人池松正之氏を加え、3名で囲碁を運営することに満場一致で可決した。

5時半まで対局し懇親会場へ。あとは囲碁談義、会食、対局など。

しかして就眠は午前1時頃になる。翌朝7時に朝風呂へ。8時に朝食後午前中一杯対局し、お昼を食べて散会した。(矢田 廣/記)

将棋

第6回オール早稲田将棋祭が、9月17日22名参加で学生会館で行われました。多くの将棋部の学生が世話をしてくれました。世田谷稲門会よりは3名参加。薄井好夫、飯田保則、柴田昇。

Bクラスにて柴田初段で準優勝でした。(写真)

(柴田 昇/記)



スポーツ観戦



東京六大学野球秋季リーグ戦、慶大に連勝し2位を確保。

10月29日(土)快晴の神宮球場で早慶1回戦を15名が観戦しました。近年では経験のない優勝のかからない早慶戦でしたが、試合は6-2で勝利し、春の雪辱を果たしました。試合後は1年ぶりに勝利の懇親会を楽しみました。

今季の残るスポーツは関東大学ラグビー早明戦と箱根駅伝です。早稲田の健闘が期待されます。

昨年は総てのスポーツに勝利し最良の年でしたが、今年はいまひとつと不振が多く、他校の強化策に比較して反省の残るシーズンでした。来季の強い早稲田を期待しましょう。(岸田 正和/記)

ゴルフ



A) 第68回ゴルフコンペ

ノロノロ台風12号がようやく抜け、スタート時には雨も上がり、晴れ間が覗き始めた9月6日(火)ファイブハンドレッドクラブにて45名の参加を得て開催されました。

優勝者は総合：榎並俊一、Gシニア：三浦格、シニア：横田吉明、レディース：竹入啓子。

B) 第69回ゴルフコンペ

快晴に恵まれた11月17日(木)習志野カントリークラブクイーンコースで38名の参加の下開催されました。水とバンカーの多いコース

にてこずった方も多かったようです。優勝者は総合：富塚兆弥、Gシニア：中井盛久、シニア：森昌治、レディース：吉村登喜子。

(工藤 隆司/記)



青年部会

11月11日の金曜日に通算5回目の部会を渋谷の鳥料理「とりかく」にて開催しました。世話役の寺島さん、中島さん、神谷さん、芦田さん、西村さん、峰さん、秋山さん、寺西さん、岡原さん、池松さんの計10名が参加。



ほとんどのメンバー同士はすでに顔見知りで会話もスムーズ、和やかな雰囲気の中おおいに盛り上がりました。

来年1月で発足して2年。平成23年度は震災自粛ムードもあり2回の開催でしたが、今後は、もう少し回数も増やし、かついろいろと趣向を凝らしながら更に楽しい会にしていきたいと一同考えています。

さしあたって次回は、女性メンバーの意見を尊重し、今までとちょっと趣向をかえた「美味しいワインを味わえるちょっとお洒落な店で」なんていうアイデアも出ています。

新入会大いに歓迎いたします。どうぞ気楽にお問い合わせください。

(池松 正之/記)

ブロック会だより

け や き

7月25日(月)17時、京王相模原線京王多摩川駅「京王フローラルガーデン」に18名が集い、本年第2回目の懇親会兼バーベキュー大会を開催した。両会に先立ち同園内欧風庭園を約30分にわたり散策し、同ガーデン内「アンジュ」にて懇親会兼バーベキュー大会に入った。

「けやき会」代表並びに副代表世話人の挨拶に続き横田吉明副会長の挨拶・乾杯の音頭に続き、新入会員の紹介、「稲門祭」案内、「世田谷稲門会」および「けやき会」の各種趣味の会の現況報告、会員への勧誘の後、肉・野菜の食べ放題・飲み放題のバーベキュー大会に入った。

女性会員の方々の献身的料理づくり、意外に上手な男性会員の方々の手さばきにより、皆我先に饅腹賞味した。あまりの食卓の品数の豊富さに会員の方々より予算超過の心配をする声も出るほどだった。一同大いに食べ、飲み、談論風発し、夏の夜を楽しく過ごし、20時30分に散会した。

(下谷内 堯/記)



西 北

西北雀会 いつもの通り、毎月第4木曜日下北沢「かめきたざわ」にて開催。3～4卓にてポン、チーと楽しく開催。希望者は幹事桃井清治氏まで。

西北お茶会 石州流野村休盛派の盛田伯雲先生(38年文)宅にて毎月開催しておりましたが、幹事の岩村明彦氏が体調を崩され、残念ながら10月より暫らく休会となりました。

西北38会 38年卒の熊谷慶紀、寺島邦夫、松浦晋三郎、横田吉明氏、他の部会から近藤国紀、露木茂氏の参加を得、顧問として前原祖彦大先輩をお迎えし、8月22日下北沢にて懇親会を開催。すでに皆古希を過ぎているが稲門会ではまだまだ若手、今後も懇親を深めて会の発展に寄与していく事を確認。

例会 11月25日(金)18時より参宮橋「新日鐵代々木倶楽部」にて昨年好評だった赤羽根邦雄氏(40年政経)をお迎えし、「新春箱根駅伝予想」と題して講演を頂く。

(松浦 晋三郎/記)

玉 川

玉川会は大震災の後いくつかの行事を中止していたが、9月17日の「カラオケを楽しむ会」から再開し恒例の会場「ラ・マンチャ」にご夫人2名も参加され8名で各々の持ち歌を4、5曲披露し久しぶりに楽しい時間を過ごした。

9月7日には新たなゴルフ会の幹事林さんと高橋さんの企画で千葉県のディスターゴルフクラブに本部のゲスト3名、ご夫人3名を迎え13名でいつものようにバスパックを行った。好天に恵まれ素晴らしいコースでプレーを楽しんだ。優勝は植原さん。帰路はバスの中での一喜一憂の表彰式と宴会で盛り上がった。

秋のグルメ会を11月6日、初参加の木原さん、河津さんにご夫婦6組みが参加し、26名で二子玉川の旬の素材が美味しいお店「青柚子」で開催した。酒井さんの中国での<なでしこジャパン>の観戦談と井山さんが彫った阿弥陀像3体を被災した陸前高田のお寺に寄贈した経緯など感動的な話を聞きました。

次回は来年2月5日(日)新年会を行います。

(浜田 康夫/記)

さ くら

第24回さくら会を平成23年11月6日(日曜日)11:30から桜新町のイタリア料理店『ミラノガーデン』で開催しました。



I 『わが人生を語ろう』

今回は江原利次氏に語って頂きました。氏は昭和31年商学部を卒業し、営業の道を一筋に歩み、50年近くの間には2回の転職、その間アメリカ・ロサンゼルスでの駐在経験もおありです。氏の話には感銘を受けること多々ありました。

II 『ビンゴを始めよう』

今回から会の活性化を図り少しでも楽しい会をしようと、会員の中から松尾守氏と大道映子氏のお二人をお願いし、ビンゴゲームを採用することにしました。ご期待下さい。また、会の最後には早稲田大学校歌を歌うことに致しました。

次回のさくら会は平成24年3月4日(日)を予定しています。

(矢田 廣/記)

きぬた

きぬた会の新幹事による平成23年度活動は、6月5日の第1回に引き続き、9月17日に第2回目として、新日鐵代々木倶楽部にて、17人の会員の参加を得て開催された。

6月にお亡くなりになった寺沢隆夫様のご冥福を祈り黙とうの後、和気あいあいとした会食となった。今回は前代表幹事の吉村豪介氏が、NHK在職中に取材された、アメリカの老人介護システムについて話を頂いた。介護を必要とする老人を、他人が引き取り、家族の一員として介護するという珍しい取り組みについての話であった。出席者一同も自分自身の問題として、身につまされる思いであった。

吉村氏のお話を中心に会話が弾み、今回も予定を大幅に超過し、3時間後にお開きとなった。きぬた会としては、平成24年度も、当分従来の形式を踏襲して、どなたかにお話をお願いしながら、会食をする事を中心に、年2~3回の活動をする予定でいる。
(高橋 毅/記)

ちとせ

「千歳会納涼懇親会開催」

今年度の第1回懇親会を7月16日(土)夕方から、昭和7年創業の老舗「天兼」[上北沢]で開催した。会員22名とゲスト3名の計25名で賑やかに、料理と会話を楽しんだ。司会進行を鈴木世話人が担当し、武藤代表世話人の挨拶に、ゲストの柏良子副会長(ブロック会統括)と濱田康夫幹事(ブロック会担当)からそれぞれご挨拶を頂いた。又さくら会代表世話人の矢田廣さんを紹介した。今回初参加の篤勝秋さん(42商)と寺西真里さん(61教)の自己紹介を御願した。

千歳会は対象地域は狭く、会員も少ないが、出席率は良く65%以上を超えている。席上、司会者から①東日本大震災の義援金の御願いと②稲門祭の福引券購入の依頼を行った。結果は義援金は15,000円の寄付を頂いた。後日、より有効な寄付先を決定する。更に今年の稲門祭と納涼会の参加を重ねて呼びかけた。

今回は一部会員の希望により、鈴木世話人から「3・11震災と原子力発電について」の背景と実態解説を短時間行った。

約3時間の懇親会を次回の再会を約してお開きとした。
(武藤 哲/記)

井山氏、仏像を陸前高田へ寄贈 罹災寺の本尊として復興照らす

世田谷稲門会会員で鎌田4丁目在住の仏像彫刻師・井山庄司氏(法名「庄念」, 昭42年政経)制作の阿弥陀三尊が、津波で本堂ごと流された陸前高田の本稱寺に寄贈された。



きっかけとなったのは5月の連休にバスツアーで訪れた盛岡のホテルで井山氏が目にした一編の新聞記事。東日本大震災の津波で寺も家族も全て流され、只ひとり九死に一生を得た本稱寺の副住職・佐々木隆道さん(48)が「この地の人人の復興の象徴にしたい」と寺の跡地で懸命に本尊を探している日々が5月3日付朝日新聞岩手版に掲載されていた。



自身の不幸にもめげず地域のために寺再興に取り組むその姿に心を打たれた井山氏が朝日新聞盛岡総局を通じて、「もし本尊が今も見つからないなら」と、自分が制作した仏像の贈呈を申し出た。その後9月上旬に世田谷の自宅工房に佐々木副住職が訪れ、流された本尊と同じ阿弥陀如来像など



阿弥陀三尊と対面、「お寺の宝として末代まで大切にします」との副住職の言葉で寄贈が決まった。2年の歳月をかけ制作した井山氏の代表作といえる阿弥陀三尊は、大震災後半年を経て完成した本稱寺のプレハブ仮本堂に安置され、新しい本尊としてこの地の復興を見守っている。この間の経過は9月7日付同紙岩手版に詳しく紹介され、檀家はじめ地元の人々はもとより多くの岩手県民の感動を呼んでいる。
(宮坂 尚利/記)

会員の広場

女子サッカーアジア最終予選／ロンドンオリンピック予選

『日本VS朝鮮民主主義人民共和国』観戦応援ツアーに参加

酒井 宏晏(昭和43年政経)



ワールドカップで優勝した時、テレビで、次は中国でオリンピック予選があると聞いていたので、息子に「中国なら近いから観に行くか」ときいたのですが、「さア」との返事でした。

ところが、自分から行こうと誘ったことを忘れていた8月の半ばになって、息子が突然「観に行こうかな」と言ってきました。早速、Googleで捜したところ、丁度その日から表題の募集が始まったところでした。私の日程が9月8、9日の北朝鮮戦しか空いていなかったもので、すぐJTBに申込みました。7日の羽田の集合場所には

7名しかおらず、皆に聞くと、最低催行人数は2名とのこと、タイ戦、韓国戦、オーストラリア戦に各1名ずつ申込んだようですが(1名では催行できず)、結局「北朝鮮戦なら催行される」と言われて移った人が計3名と、宮間選手の高校の後輩という2人組みと私達親子の計7名で催行ということになりました。JTBなのにこんなになんないとは！とビックリしました。

なお、出発案内に同封されてきた『外務省海外安全ホームページ』には、中国(青島)：「2012年ロンドンオリンピック・女子サッカーアジア最終予選開催に伴う注意喚起」なるものがあり、「1928年、日本軍と国民政府軍が交戦した済南事変の舞台として知られるところで、旭日旗を掲げるとトラブルを生じる可能性があります」という記述もありました。しかし、現地の「青島中国旅行社」の劉東さん(日本中心



日本センターの手配課長)が、こちらの無理難題を見事に聞き入れて下さり、息子もこんな楽しい旅行は初めてだったと、帰ってきて女房に言っていました。本題のサッカーは、テレビで観戦された方のほうがよく分かっておりますと思います。ただ、澤からのボールが出て川澄がサイドに抜けセンターリングと思つた瞬間、北朝鮮の選手が川澄をはるかに上回るスピードで抜き返したのを目の当たりにして、北朝鮮恐るべしと感じました。普通のチームならサイドバックの近賀や鮫島が上がつてセンターリングをするのですが、北朝鮮のスピードに備えてハーフラインにも近づけない状態で、もっぱらディフェンスに追われていました。岩清水が上げたボールがゴールに入ったのは見えたのですが、どうして入ったのかは日本に帰ってきてビデオを見るまでは分かりませんでした。

普通はゴールが決まれば、

選手が抱き合うのですがそういったシーンは全く無しでした。ロスタイムは日本選手は疲れに疲れてクリアーボールを3度も空振りし、ついに同点となってしまいました。観ていて、「よく引き分けたな」と思いました。

祝勝会を広東料理で予約していたのですが、キャンセル、急遽オリンピック競技場で行われる中国VSオーストラリア戦を観に行きました。オーストラリアが勝ち、ロンドン行きが決まったので、焼肉屋で11時頃から祝杯を挙げました。

ホテルのテレビでは、試合の前の晩は体育というチャンネルですと日本対オーストラリアと中国対タイの放送をしていたのですが、この夜は中国対タイで中国が前に勝った試合だけの放映で、日本対北朝鮮、中国対オーストラリアの放映は翌朝の出発が早かったので一睡もせずにテレビをつけて放して観ていたのですが、結局放映されませんでした。

東京オリンピック開催の年に、ハワイ日系人による初めてのホテル、ワイキキ・グランドホテルが完成し、その中の超一流の日本レストランにひよんな事から私がゼネラルマネージャーとして赴任する事から奮闘開始の笛がなりました。



当時のハワイは、もっぱらアメリカ本土からの観光客が主流で、日本からは、政官財のお偉方さんと芸能人ばかりで、しかも日本語の通じないアメリカ本土視察を終えてからの立ち寄りですから、日本語が通用するハワイへ来るとあれこれと用事を言いつかりました。

島周り観光は当然として、選挙の事前運動用の印刷済みのハガキを大量に渡され、従業員も切手貼りの名人になったほです。なかには、まだアメリカ力を征服してこないのと真剣な眼差しで会いに来るので、一緒に真珠湾攻撃でもして欲しいとでもいうのかと思つたら、そうでもないの

昭和39年のハワイ・ホテル勤務の思い出

江原 利次(昭31年商)

で可哀想になります。この場合は、観光タクシーにバトンタッチして全てをお任せしました。翌日には、帰国のトラックを提げたご本人が、トラトラでしたと叫びながら笑顔のVサインで挨拶に現れたので、こちらも親指を立ててアメリカ征服了解と答えてあげました。

真珠湾といえば、撃沈された戦艦アリゾナにボートに乗ったの見学コースがあります。ある時、白人観光客達と乗船した所、かもめの水兵さんがガムを噛んでいた私に向

かっついていきなりノー・チューイングガムと叫ぶので、あわてたはずみに呑み込んでしまつたら、よしよしとばかりにうなずき、他のお客も噛むのをやめて一段落。ところが、下船の時にそのかもめの水兵さんが私の腕をムンズと掴んで来たので、さては手錠でも嵌められて営倉送りかと思いきや、新しいガムを握らせて二やりとしました。この時ばかりは、学生時代と違って日米安保万歳と叫んでしまいましたが、万歳だけは通じたのか敬礼をしたのでこちらもキチツとお返しをしました。

敬礼といえは、ハワイにも

日本からの企業戦士達の集いがあり、私も時々参加しましたが、ある時誰かがこの人は士官学校卒の将校だったと紹介したので、陸軍ですか、海軍ですかと聞いた途端に、元将校さんから、起立と声が掛かり、次に股を開けと云われるのかと覚悟をしたら、陸軍に決まっておるとだけ言つたので、軍国少年だった私も失礼しましたと右ひじを真横に上げて敬礼をしたら、オー、陸軍式でよろしいと褒められて一件落着。

ハワイ生活も数年経つ内に、私にも日系二世が2人も生まれ、日本からの観光客も農協の団体さん、企業の招待旅行客と沢山来るようになり、日本経済の発展ぶりが見えてきました。但し困つた事には皆さんの振る舞いが国内旅行と同じで、下着姿で廊下をうろうろする男性に注意をしたところ、ピキニ姿の白人女性を指差して、俺よりズツ短いのを着ているじゃないかと逆ギレされる始末。バスタブの外でジャブジャブとお湯を使って下の階から水漏れの苦情が出たり、枕も掛け布団も無いぞとの苦情の電話に駆けつけて見ると、ベッドメーカー

グされた毛布をめくるのが分らずだったり、苦笑しながらの奮闘が続いたことでした。

世田谷の地価

井口 昭昭48年商



私は不動産鑑定士として、国交省の地価公示、東京都の地価調査、国税庁の相続税路線価などの公的評価に携わっています。一般の法人、個人の資産査定、賃料評価も行っています。公的評価は土地取引の際の補償の基礎であり、相続税、固定資産税の基礎となるものです。金融機関の担保評価にも利用されており、わが国の経済システムの根幹を支えている重要なものといえます。私は世田谷区の公的価格を担当させて頂いており、平成23年度東京都地価調査の結果を踏まえて、世田谷の地価の動向についてレポートしてみたいと思います。

世田谷の地価動向ですが、まず東京都地価調査を見てみましょう。9月21日に国交省

から全国都道府県調査として新聞発表されました。これによると、東京では平成17年から地価が上昇に転じましたが、平成20年のリーマンショックにより、景気全体が低迷し、地価は再び下落し始めました。平成22年に入り欧米に比べダメージの少なかった日本経済は持ち直し、下落幅が縮小し始めました。今回の地価調査

よりも少ない下落率になっていきます。今回、特徴的だったのは、都心5区といわれる千代田、中央、港、新宿、渋谷で下落率が3%以上とやや大きな下落率を示したことです。オフィスの空室率が高止まりする中で、賃料の下落が続く、投資意欲が減退していることなどが原因と考えられます。

を見ますと、地価の大きな下落はありませんが、平成23年1月から平成23年6月までの半年間の下落率がやや大きくなっている傾向が認められました。住宅地については、東京都全体で年率▲1.3%です。参考までに、埼玉、千葉は2%台の下落率、神奈川は1%台の下落率でした。また、西高東低などという情報もありますが、京都、大阪、兵庫は2%台の下落率となっています。このような状況の中で、世田谷は▲1.5%となっており、平均的な下落率と判断されます。商業地については、東京都全体で▲2.4%、埼玉、千葉も2%台の下落率、神奈川は1%台の下落率です。京都は2%台の下落率、大阪、兵庫は3%台の下落率となっています。世田谷は▲1.5%であり、平均

今後の見通しとしては、やはり欧米の財政問題、金融不安から円高、空洞化など日本経済にも影響が波及しており、また、日本も財政改革の必要性から増税を検討せざるを得ず、地価にも影響が出てくると考えられます。世田谷は現在のところ、人口は微増で、二子玉川の再開発なども順調に進んでいます。緑や自然にも恵まれ、住環境や都心へのアクセスもよく、近場にも洒落たレストランや居酒屋もあって、世田谷ブランドは当面、健在でしょう。しかし、一層の活性化が期待されるところです。本題について、何かご質問やご依頼の向きがございましたら、私の連絡先のメールは ajg3635eagle@e06.itcom.net 電話は03-5430-4871です。どうぞご連絡ください。

新入会・退会・住所変更等のお知らせ 平成23年11月10日現在
 名簿〔平成21年3月発行〕後、会報40号～47号掲載以降分

〔新入会員〕

氏名	卒年・学部	郵便番号	住所	電話	FAX
木原 禎子	昭36理工	個人情報につき不掲載			
櫻井 昭一	昭36政経				
加藤 直規	昭48理工				
中山 久徳	昭63商				

〔退会会員〕

氏名	卒年・学部	理由	住所
池田 裕	昭40政経		
田部井好文	昭46政経		
三橋 宏	昭35理工		
沓掛 元砥	昭29理工		
黒澤 孝之	昭36商		
榊原 麻里	平03文		
妻鹿健次郎	昭23商		
川井 勝義	昭33商		
田岡 義計	昭26政経		
櫻井 和恵	昭43教育		
高村 真司	昭30理工		

〔住所変更・訂正〕

谷浦 俊徳	昭42商
大川 武雄	昭61文
水野 義一	昭28教育

世田谷稲門会ホームページもぜひご覧ください。

(Google, Yahooで「世田谷稲門会」で検索して下さい。)

<http://homepage3.nifty.com/setoupa/>

叙勲のお知らせ

当会会員神保和彦氏〔昭和44年教育卒・西北会・昭和信用金庫理事長〕は秋の叙勲で黄綬褒章を受章されました。おめでとうございます。

事務局だより

会員の皆様、お元気で過ごしの事と存じます。本年後半の主要行事の納涼会が9月3日、キャロットタワーで80余名の参加の下、コンサートを満喫しながら、楽しく行われました。キャロット会の皆様にお世話頂き有難うございました。また、10月16日、稲門祭は、晴天に恵まれ、当会も大隈庭園で恒例の焼き鳥・ビール店を出店、完売できました。震災被災学生支援福引券付記念品販売に多数の会員にご協力頂きお礼申します。

明年1月21日16時から新春

編集後記

3月11日の東日本大震災から9か月が過ぎました。被災地は冬を迎え厳しい状況が続きます。大勢のボランティアの方が多方面で活躍されていますが、7ページに掲載した井山庄司さんの阿弥陀三像寄贈のニュースは大変心温まる話題なので特別に掲載しました。

私は福島県にある総合病院と仕事の関係があり震災直後からささやかなサポートをしています。ですが、この病院などが県・国と一緒に元々原発事故のダメージを克服し、「世界最先端の放射線によるがん治療」の開発に

懇親会があります。今回は、会場が山手線目黒駅下車徒歩約5分の「目黒雅叙園」です。新春にふさわしい落ち着いた雰囲気のお話をお楽しみください。多くの皆様のご参加、お待ちしております。

本年は東日本大震災を受け、厳しい年でした。明年は本格的な復興の年。希望の年となりますように。世田谷稲門会も設立20周年の節目の年。皆様のご多幸とご健勝、会の新たな発展を念じ、事務局一同、気持ちを引き締め尽力したいと存じます。皆様のご支援、宜しく願います。

(事務局 武居 達治/記)

動き出すなど未来に向かっている前向きな動きも出てきました。世田谷稲門会のホームページ・会報も皆様のご協力により、体裁も少しずつ整ってきました。とくに毎年多士済々の会員方による「会員の広場」の原稿は楽しみにしています。次号以降も積極的なご投稿をお願いします。来年11月には世田谷稲門会設立20周年の記念行事が計画されています。それまでには会員数500名の目標を達成しましょう。とくに60歳前後の若手(?)OB/OGの方の勧誘にご協力ください。

(編集委員 寺島 邦夫/記)
